

「高知家健康づくり支援薬局」を核とした かかりつけ薬剤師・薬局機能の強化



高知県健康政策部医事薬務課
公益社団法人高知県薬剤師会

高知県が目指すのは、県民の誰もが住み慣れた地域で、
安心して暮らし続けることのできる「**日本一の健康長寿県**」です。

目指す姿の実現に向けて

平成22年2月 保健・医療・福祉の各分野の課題を分析し、「**日本一の健康長寿県構想**」を策定
平成24年2月 中山間対策や南海トラフ地震対策、目指す姿の明確化などの6つの視点を盛り込んだ
「**第2期構想**」を策定（第2期：平成24～27年度）
平成28年2月 本県が抱える根本的な課題を解決するために、5つの柱を設定した「**第3期構想**」を策定

■ ■ 第3期「日本一の健康長寿県構想」の視点 ■ ■

◆本県が抱える根本的な課題を解決するために、第3期構想では新たに**5つの柱**を設定し、より本格的な対策を推進

大目標Ⅰ 壮年期の死亡率の改善

全国に比べて高い壮年期世代の死亡率を改善します！

大目標Ⅱ 地域地域で安心して住み続けられる県づくり

必要な医療・介護サービスを受けられ、地域地域で安心して住み続けることのできる県づくりを進めます！

大目標Ⅲ 厳しい環境にある子どもたちへの支援

厳しい環境にある子どもたちの進学や就職などの希望を叶え、次代を担う子どもたちを守り育てる環境づくりを進めます！

大目標Ⅳ 少子化対策の抜本強化

「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の取り組みなどによって、少子化対策を官民協働の県民運動として展開します！

大目標Ⅴ 医療や介護などのサービス提供を担う人材の安定確保と産業化

医療や介護などのサービス提供を担う人材の安定確保と産業化を推進します！

「日本一の健康長寿県構想」 大目標Ⅰ 壮年期の死亡率の改善

「日本一の健康長寿県構想」
第3期 Ver.2 改編

健康づくり 疾病予防

健康教育の推進

「子どもの頃から健康的な生活習慣を身につけるため」
学校・家庭・地域が連携した取り組みを推進

学校で

- 学校薬剤師による健康・保健教育（薬物乱用防止等）
- 副読本等を活用した健康教育の実施

健康的な生活習慣

家庭で

- ヘルスメイトによる食育を通じた健康教育

地域で

- 保育士・幼稚園教諭、市町村職員への研修

健康知識を得る

体を動かす

子どもの頃から健康的な行動の実践

行動目標

健康的な行動の定着

健康に食べる

健(検)診を受ける

「ヘルシー・高知家・プロジェクト」の推進

「健康づくりに無関心、関心はあるが行動化していない」
県民が、健康づくりに取り組むための仕組みづくり

個人の健康づくり

高知家健康パスポート事業

高知家健康づくり支援薬局における健康相談、健診受診、健康イベント参加等で取得できるパスポートを発行し、楽しみながら日々の健康づくりに取り組むことを目指す。

環境づくり

- 高知家健康づくり支援薬局の整備（健康相談応需体制の整備）
- 職場の健康経営の支援
- 減塩プロジェクト

たばこ・高血圧対策

- 高知家健康づくり支援薬局における家庭血圧測定と記録の指導、禁煙相談応需や医療機関の紹介
- 受動喫煙防止対策の推進

高知家健康づくり支援薬局との連携

早期発見 早期治療

がん予防の推進

がん検診の受診率向上

意義・重要性の周知

- 対象者への個別通知
- 未受診者への再勧奨
- マスメディアを活用した受診勧奨

利便性の向上

- 市町村検診の広域化
- 複数の受診が可能なセット検診の促進
- 土・日検診実施医療機関の周知（乳・子宮頸がん）

高知家健康づくり支援薬局の取り組み
○がん検診の受診勧奨
○市町村別がん検診日の案内

高知家健康づくり支援薬局の取り組み

- 家庭血圧の測定と記録の推奨、受診勧奨
- 血圧記録票付きお薬手帳の紹介
- 特定健診の受診勧奨

特定健診の受診率向上

- 対象者への受診勧奨
- がん検診とのセット化による利便性の向上

血管病対策の推進

特定保健指導の強化

- 県栄養士会による特定保健指導業務の体制強化

重症化予防

- 未治療、治療中断者への対応強化

歯周病予防による全身疾患対策

- 妊婦への歯科健診による早産予防
- がん治療前後の口腔ケアによるQOL向上対策

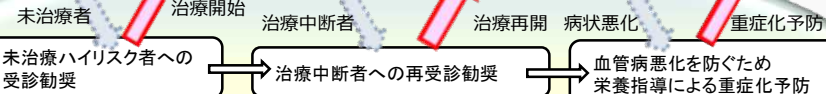
がん医療の充実

- 高知医療センター「がんサポートセンター」の運用開始

高知県自殺対策行動計画の推進

【血管病の重症化予防プロセス】

患者のQOLやADLの向上



健康管理に取り組む人が増え、壮年期の過剰死亡が改善する！

高知家健康づくり支援薬局を活用した県民の健康づくりの推進

1 現状

- 県民が身近で気軽に健康に関する専門的な支援・相談を受けられる場所としてH26年9月より高知家健康づくり支援薬局を整備（173薬局 H29年3月現在）

	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	合計
支援薬局数/ 全薬局数 (%)	18/32 (56%)	20/55 (36%)	97/194 (50%)	16/46 (35%)	10/29 (34%)	12/43 (28%)	173/399 (43%)

- 高知家健康づくり支援薬局と高知家健康パスポート事業の連携を開始
- 薬局・薬剤師と多職種・他機関が連携して健康づくりを推進する取り組みを実施
- H28年4月よりかかりつけ薬局機能と健康サポート機能を併せ持つ国の「健康サポート薬局」制度が開始
- 患者の服薬情報を一元的・継続的に把握するため、紙のお薬手帳に併せ、電子版お薬手帳を整備し、普及・啓発を実施（280薬局 H29年3月現在）

3 今後の取り組み

薬剤師と多職種・他機関（医療機関や地域包括支援センター等）が連携して県民による主体的な健康の維持・増進を支援するとともに、かかりつけ薬剤師・薬局の普及定着を図る

現在健康な人

特定健診、がん検診等の受診の声掛け、健康相談



病気治療中の人

多職種・他機関と連携した適切な服薬支援、在宅訪問等



高知家健康づくり支援薬局の取り組みの推進

- 高血圧対策、禁煙支援等健康づくりに関する支援
- 医療機関や各種健診の受診勧奨
- 一般用医薬品に関する情報提供や相談応需
- お薬手帳の正しい使い方の啓発
- 健康まつり等でのお薬・健康相談会の実施

健康サポート薬局

かかりつけ薬剤師・薬局機能を持つ薬局の増加

- 服薬情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導
- 24時間対応・在宅対応
- かかりつけ医をはじめとした医療機関等との連携



高知家健康づくり支援薬局

かかりつけ薬剤師・薬局

高知家健康づくり支援薬局の機能とかかりつけ薬剤師・薬局の機能を満たすことで、健康サポート薬局の整備に繋がる

2 課題

【体制整備・強化】

- 高知家健康づくり支援薬局の整備の継続
- 高知家健康パスポート事業との連携による取り組みの拡充
- 健康づくりを推進するための薬剤師の資質向上
- 高知家健康づくり支援薬局から健康サポート薬局へつなげるための支援（研修会の実施等）



【県民等への周知・啓発】

- 高知家健康づくり支援薬局の活用方法、かかりつけ薬局を持つことの意義等の広報（高知家健康パスポート事業と連携した広報）
- お薬手帳（紙版・電子版）の意義及び役割等の周知、適正な活用方法の周知

4 平成29年度の取り組み

※ 関係団体（県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会等関係団体への事業説明及び意見交換を行い、事業を実施する

◆ 健康支援・医薬連携推進拠点整備及び担い手の養成

○体制整備

- ・ 事業説明会の実施
- ・ 薬局への健康サポート活動用資材の配布
- ・ 高知家健康づくり支援薬局の整備
- ・ 健康相談応需スキルアップのための研修会の実施
- ・ かかりつけ薬剤師・薬局や健康サポート薬局に係る研修会の実施
- ・ 薬局に対するタイムリーな健康関連情報の提供



○取り組み内容の充実【地域全体での取り組み】

- ・ 多職種合同による健康サポート活動の拡大（20回）
- ・ 薬剤師会支部単位における薬局間連携の強化（24時間対応体制整備の検討等）
- ・ 県民対象アンケートの実施（県民500人程度）、分析結果による事業検証

○広報の強化

- ・ TVCM作成・上映
- ・ 健康まつり等における薬剤師・薬局職能のPR
- ・ 県・市町村広報誌、県広報番組・ラジオ等を活用した広報
- ・ 県政出前講座の実施
- ・ こうち医療ネット、県ホームページ上での高知家健康づくり支援薬局及び健康サポート薬局の公表



「高知家健康づくり支援薬局」とは

県民が、身近で気軽に医薬品や健康に関する相談・支援が受けられる総合的な健康情報拠点として知事が認定する薬局



認定証、看板、
のぼり旗などを
交付

認定要件（高知家健康づくり支援薬局認定制度実施要領より抜粋）

「高知家の薬剤師」が勤務していること

＜高知家の薬剤師の定義＞

次のアからウのいずれかを満たす薬剤師

- ア 健康サポート薬局に係る研修修了者
- イ 研修認定薬剤師
- ウ 研修受講歴や勤続年数等を勘案して、知事が認めた者



「高知家の薬剤師」
にはピンバッチを
交付

「高知家健康づくり支援薬局」とは

- 平成26年度より認定制度開始
- 平成28年度からは高知県健康長寿政策課が開始した「高知家健康パスポート」事業の参加施設として位置づけ
⇒ 高知家健康づくり支援薬局での健康相談でヘルシーポイント1枚交付



高知家健康パスポート事業（高知県健康長寿政策課）

目 的：高知県民の健康意識の更なる醸成と、
健康的な保健行動の定着化

事業期間：平成28年9月1日～平成30年度末（当初計画）
平成33年度末【3年延長！】

利用者数：パスポートⅠ 21,913 名（平成29年12月末）
パスポートⅡ 2,177 名（平成29年12月末）

対 象 者：20歳以上の県民

参 加 費：無料

実施方法：健診など健康づくりに取り組み、ポイントを
貯めてパスポートを取得。
参加施設でパスポートを提示することで様々な
特典が受けられる。
健康づくり活動を継続し、ポイントを貯めること
で更なるお得も用意。

高知家健康づくり支援薬局で健康相談

健康相談をされた方に
ヘルシーポイントシールを付与



高知家健康づくり支援薬局が行う 健康イベント

- ・スーパー店頭での出張相談
- ・健康づくりイベント、セミナー など

「日本一の健康長寿県構想」大目標Ⅱ 地域地域で安心して住み続けられる県づくり

「日本一の健康長寿県構想」第3期 Ver.2 改編

地域での在宅医療の推進

- 薬剤師の在宅訪問等による服薬支援
高知家お薬プロジェクトより、
薬剤師・薬局と多職種の連携
体制を構築し、多職種で在宅
医療の推進に取り組む

- 中山間地域で在宅医療が選択
できる環境整備

等

かかりつけ医

地域の病院

救急医療の提供

- 救急医療機関の強化と
円滑な救急搬送

地域を支える医療従事者の確保

- 在宅訪問薬剤師の養成とスキルアップ
- 地域での多職連携連体制を構築する
ための研修会の実施
- 等

地域での暮らしをバックアップ

日々の暮らしを支える高知型福祉の仕組みづくり

元気で住み続ける
ための介護予防の
仕組みづくり

あったかふれあいセンターの
整備と機能強化

- 薬剤師によるお薬・健康相談会
の実施
- 介護予防サービスの充実・強化
- それぞれの地域ニーズに対応
した多様な福祉サービス提供体
制の構築

認知症の高齢者等
を支える地域づくり

障害児を社会全体で
見守り育てる
地域づくり

自殺予防対策に
取り組む地域づくり

- 自殺予防ゲートキーパー養成研修
(対象：薬剤師等医療関係者、市町村等)
- 市町村レベルでの自殺対策の計画策定への支援
- うつ病やアルコール健康問題などへの対応力の強化

病気になっても安心な
地域での医療体制づくり

地域ニーズに応じた介護
サービス提供の体制づくり

施設サービス（特別養護老人ホーム・
老人保健施設など）

介護・障害福祉サ
ービス事業所

- 中山間地域での介護・障害福祉
サービスの確保
- 第7期介護保険事業支援計画、期
障害福祉計画の策定

在宅サービス（ホームヘルパー・
デイサービスなどの訪問・通所支援）

サービス利用への相談支援
(地域包括支援センターなど)

障害の特性等に応じた切れ目の
ないサービス提供体制の整備

- 医療的ケアの必要な子ども等とそ
の家族への支援の強化

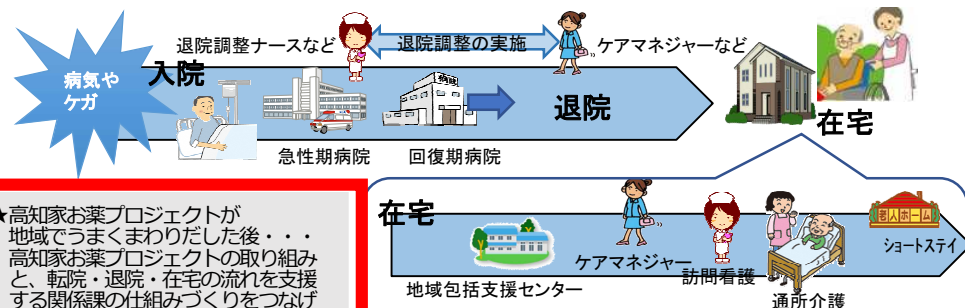
介護等が必要になっても地域で
暮らし続けられる仕組みづくり

<<参考>>

関係課の
今後の取り組み

入院から在宅生活への円滑な移行に向けた医療と介護の連携

- 患者に適した空き病床を幅広く選択できる「転院支援システム」の構築
- 退院後の在宅生活に不可欠な情報を共有するため、保健所圏域ごとに「退院調整ルール」を策定

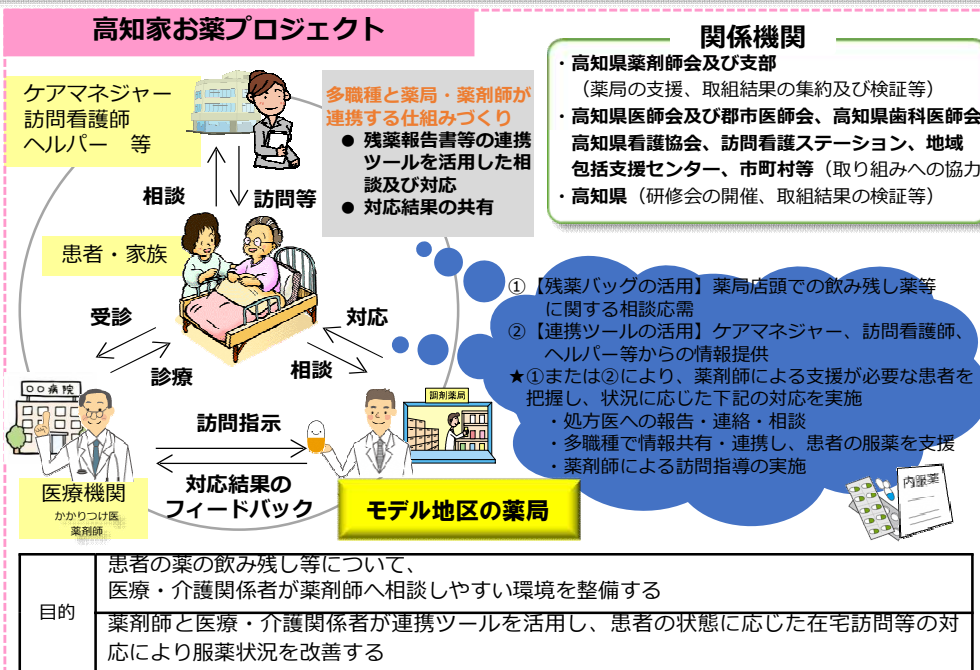


在宅医療への薬局・薬剤師の参画の推進

1 現状

- 高齢化の進展とともに、在宅で療養を希望する患者が増加している
- 患者の飲み残し薬の原因に応じた服薬支援が十分に行われていない
- 在宅患者訪問薬剤管理指導を行う薬局 343薬局（約86%、H29.3）
- 在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定している薬局
H21：16薬局 → H25：44薬局 → H28：95薬局（うち高知市内64薬局）
- 高知家お薬プロジェクトの開始（H28～ モデル地区：南国市、香美市、香南市）
 - ・ 地域の薬局間の連携
 - ・ 薬局、薬剤師と医療機関、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等との連携体制整備

3 今後の取り組み



多職種・他機関との連携体制を構築

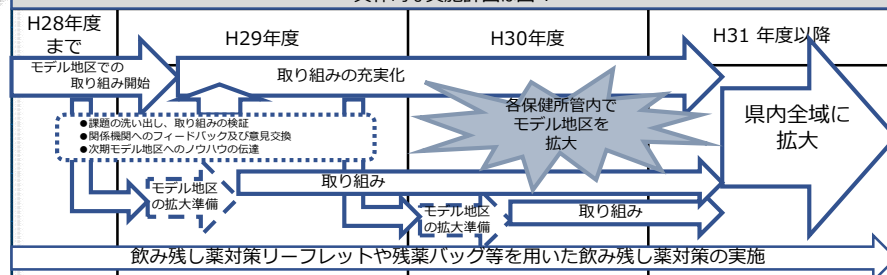
H37年には、すべての薬局がかかりつけ薬局としての機能を持ち、多職種・他機関と連携して地域包括ケアシステムの一翼を担う存在となる

H27年10月 厚生労働省「患者のための薬局ビジョン」

2 課題

- 在宅医療に取り組む薬剤師の養成とスキルアップ
- 高知家お薬プロジェクトの拡大
 - ・ 医療・介護関係者と地域の薬局・薬剤師が連携する体制の整備
 - ・ 地域の薬局が薬剤師会支部や薬局同士で連携して在宅医療に参画できる体制の整備
- 地域の薬局のかかりつけ薬剤師・薬局機能*強化
 - *かかりつけ薬剤師・薬局が持つべき3つの機能
 - ① 服薬情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導
 - ② 24時間対応・在宅対応
 - ③ かかりつけ医をはじめとした医療機関等との連携

具体的な実施計画は図4



4 平成29年度の取り組み

- ◆ 在宅医療に取り組む薬剤師の養成とスキルアップ
 - ・ 薬剤師を対象とした在宅訪問研修会の実施
 - ・ 多職種合同による研修会の実施
- ◆ 多職種・他機関の連携体制の構築
 - ・ 多職種合同による研修会の実施（再掲）
 - ・ 高知家お薬プロジェクトの取り組み拡大
 - ① H28年度モデル地区の取り組みの継続
 - ② モデル地区の拡大
 - ・ 薬局薬剤師と病院薬剤師の連携による患者情報の共有
 - ・ 地域推進会議等による多職種との情報共有・意見交換
- ◆ その他
 - モデル地区の薬局や多職種へのアンケート等による取組方法の検証及び連携ツール等のバージョンアップ

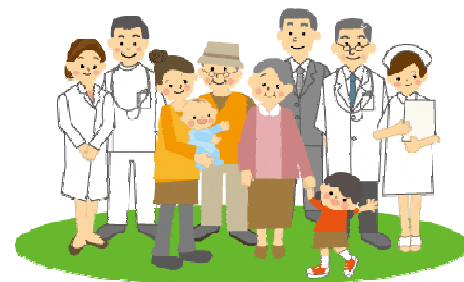
在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」とは

＜目的＞

医療・介護関係者が連携（多職種連携）し、
認知症を含む高齢者等の在宅での服薬状況を
改善することにより、薬物治療の効果を高める。

本事業を通して

多職種・多機関の連携体制を強化



安心して在宅医療（療養）ができる環境整備

「患者のための薬局ビジョン」

～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

健康サポート機能

健康サポート
薬局

- ☆ 国民の**病気の予防や健康サポートに貢献**
 - ・要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
 - ・健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介 等

高度薬学管理機能

- ☆ **高度な薬学的管理ニーズ**への対応
 - ・専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援 等

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握

- ☆ **副作用や効果**の継続的な確認
- ☆ **多剤・重複投薬や相互作用の防止**
 - ICT(電子版お薬手帳等)を活用し、
 - ・患者がかかる**全ての医療機関の処方情報を把握**
 - ・一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ **夜間・休日、在宅医療**への対応
 - ・**24時間**の対応
 - ・**在宅患者**への薬学的管理・服薬指導
- ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

医療機関等との連携

☆ 疑義照会・
処方提案

☆ 副作用・服薬状況
のフィードバック

・医療情報連携ネット
ワークでの情報共有

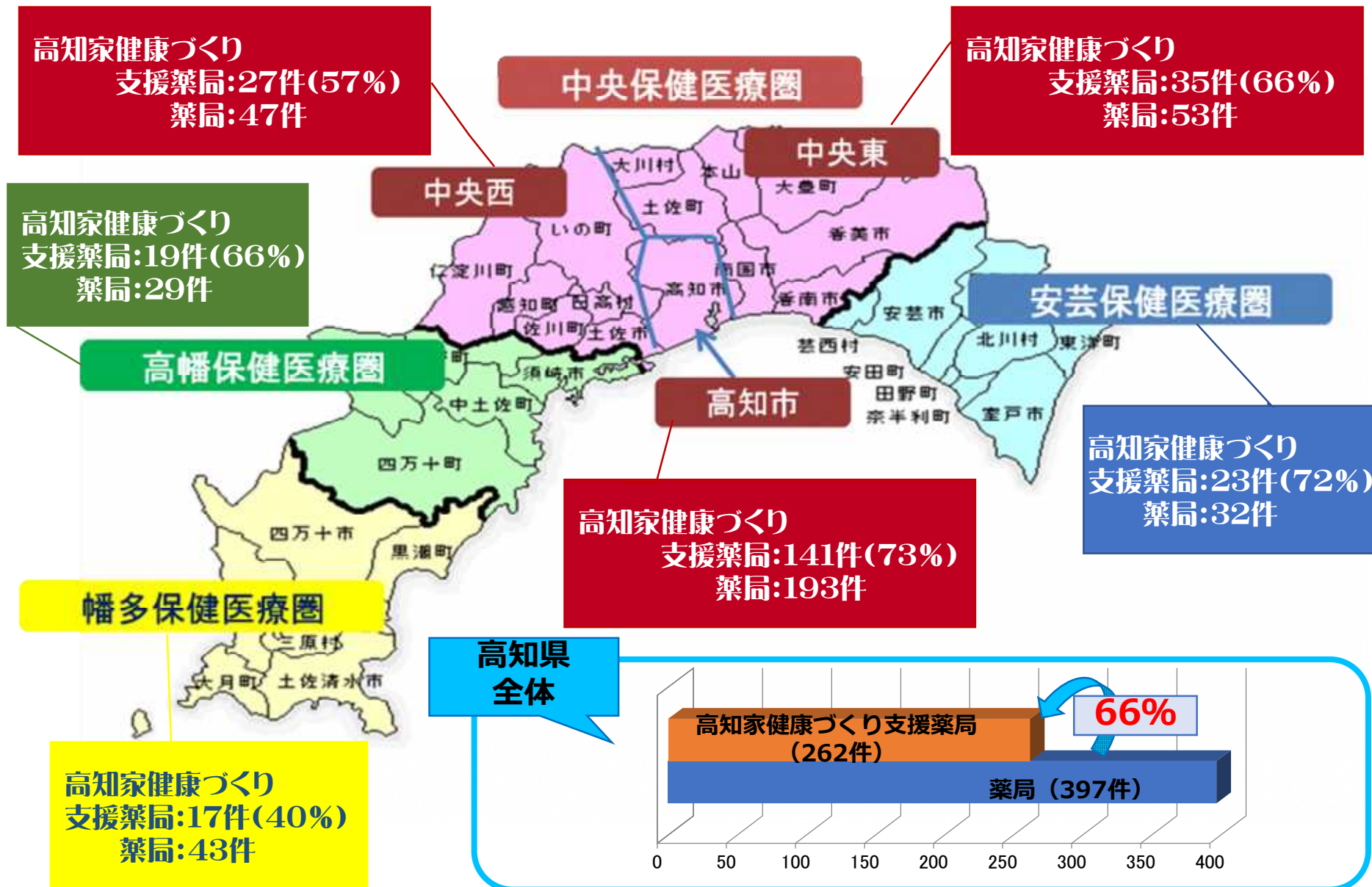
☆ 医薬品等に関する相談
や健康相談への対応
☆ 医療機関への受診勧奨

高知家健康づくり支援薬局の整備

高知家健康づくり支援薬局の取り組み強化

在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」の推進

高知家健康づくり支援薬局の整備状況



高知家健康づくり支援薬局の取り組み

○高血圧対策

⇒家庭血圧の測定と記録の推奨、受診勧奨

○禁煙相談対応

⇒禁煙の声掛け、禁煙の方法・種類の説明、
禁煙外来を行う医療機関の紹介

○特定健診・がん検診・乳幼児健診の受診勧奨

⇒健診等の受診の声かけ、市町村ごとの実施日のお知らせ

○処方された薬の飲み残し対策

⇒在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」

○地域の健康まつり等のイベントでのお薬・健康相談、出前講座

○地域ケア会議への参加

など

高知家健康づくり支援薬局による お薬・健康相談会の実施（例）

平成29年7月22日～23日
すこやか親子2017
場所：高知ぢばさんセンター



高知家健康づくり支援薬局による お薬・健康相談会の実施（例）



平成30年1月8日（月・祝）
「はたちの献血」キャンペーン会場
場所：イオンモール高知



薬局来店者へのアンケートを実施

アンケート概要

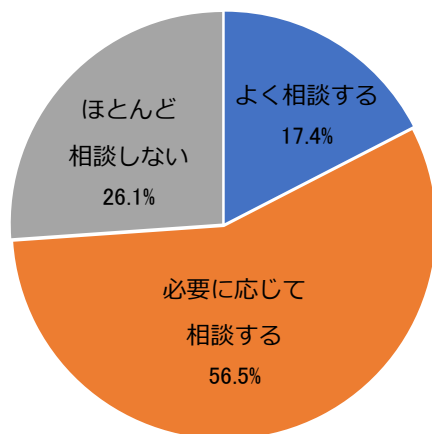
実施期間：平成29年10月10日～平成29年10月27日

回答人数：894人

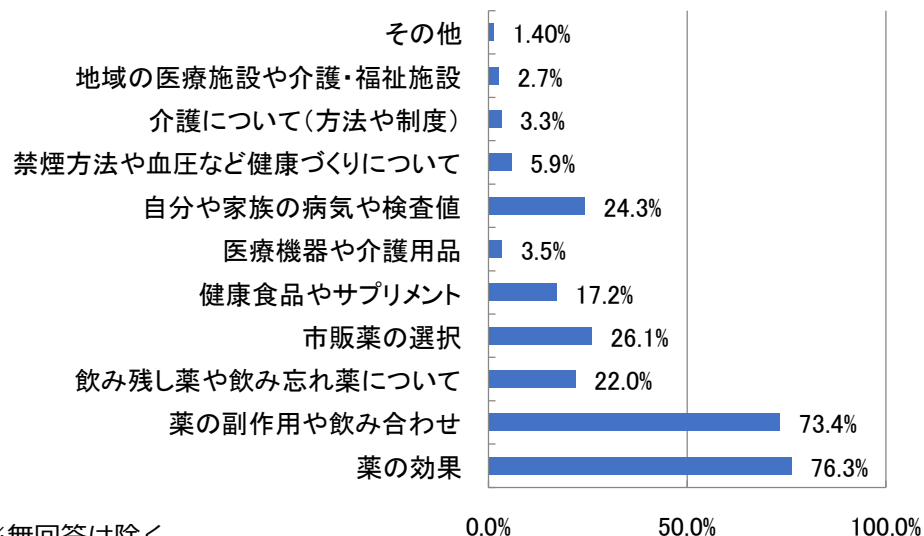
アンケート結果（速報値）

「高知家健康づくり支援薬局」について

■ あなたは薬局へ行った時に
薬剤師に相談していますか。



■ あなたは薬剤師にどのようなことを相談しますか。
または相談したいと思いますか。（複数回答可）

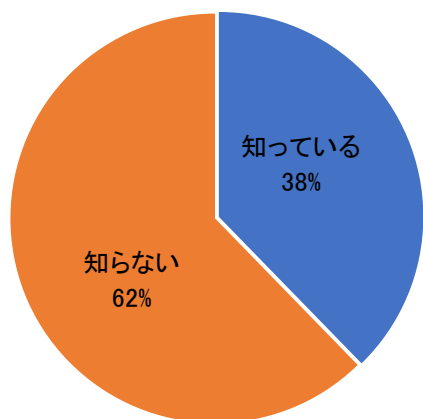


※無回答は除く

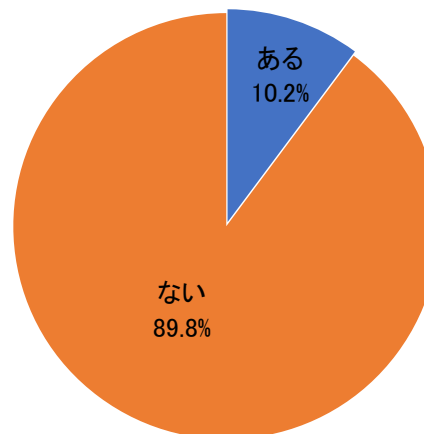
アンケート結果(速報値)

「高知家健康づくり支援薬局」について

■「高知家健康づくり支援薬局」を知っていますか。



■「高知家健康づくり支援薬局」でヘルシーポイント^(注)をもらったことがありますか。



※無回答は除く

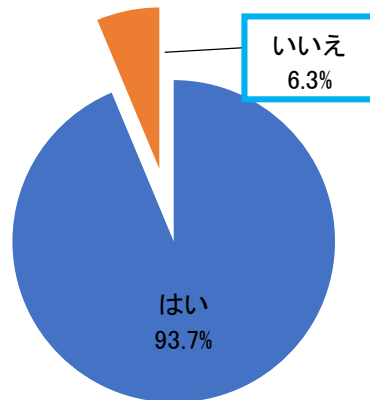
(注) . . . ヘルシーポイント . . .

- ▶ 高知県が取り組んでいる「高知家健康パスポート事業」において、個人で日々の健康づくりに取り組んでいる方に対する評価として交付しているシール
- ▶ 高知家健康づくり支援薬局での健康相談でシールを1枚交付

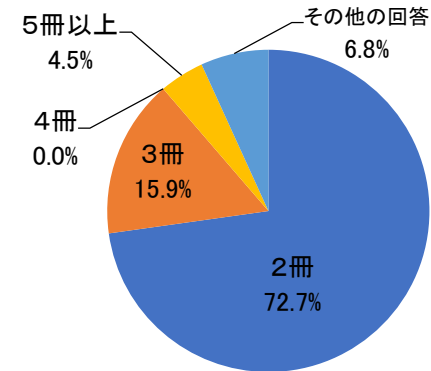
アンケート結果(速報値)

お薬手帳について

■ お薬手帳を1冊にまとめていますか。

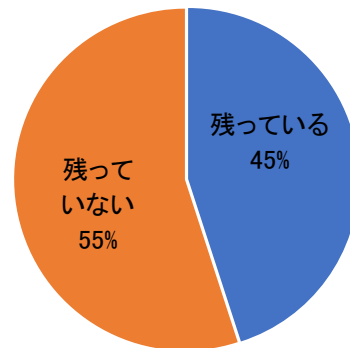


■ お薬手帳を何冊お持ちですか。

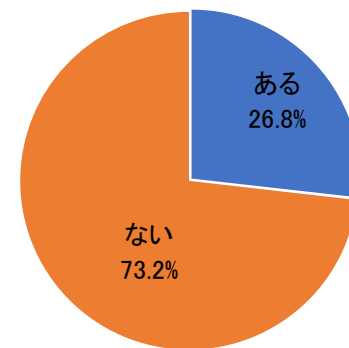


飲み残し薬について

■ あなたやご家族が病院や薬局からもらった薬のうち、現在治療のために飲んでいるもの以外で、ご自宅に残っている薬はありますか。



■ あなたは飲み残した薬について、薬局へ相談したことがありますか。



※無回答は除く

在宅服薬支援事業

「高知家お薬プロジェクト」について

- ◇ 平成26～27年度に実施した「飲み残し薬調査」(県、薬剤師会、大学)によると、在宅医療・介護関係者の介入で患者の服薬コンプライアンスが向上したという結果であった
- ◇ 平成28年度より、在宅患者の服薬状況*に関する情報や相談をきっかけとして、多職種が連携して患者の服薬支援を行う事業「高知家お薬プロジェクト」の取り組みを開始(モデル地区:高知県薬剤師会香長土支部の3市/南国市、香南市、香美市)

* 平成28年度は患者の飲み残し薬に着目

バージョン アップ

- ・ 平成29年度は、高知県薬剤師会 香長土支部・高知市支部の全薬局(249件)を対象として取り組み
- ・ 飲み残し薬だけではなく服薬状況に関すること全般

- ◇ かかりつけ薬剤師・薬局が持つべき機能の一つ「在宅対応」について小規模薬局を含めて対応できる仕組みづくり

在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」の流れ

患者宅、事業所



①医師、歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー等が服薬状況の気になる患者（利用者）さんを発見



FAX
番号は薬袋参照

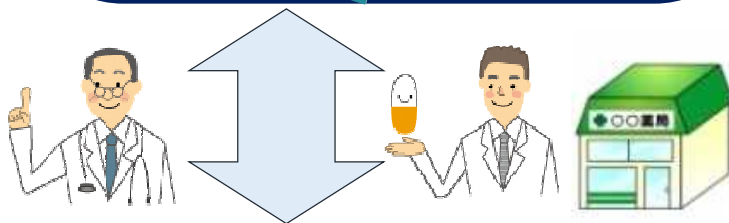
②調剤した薬局へ「**薬局への残薬報告書**」
（様式A）等
を利用して情報提供

地域の薬局

③薬局の対応

- ・飲み忘れや飲み間違い等の原因に応じた服薬支援の検討と実施
- ・状況に応じて患者宅への訪問
- ・医師の訪問指示による患者宅への訪問

★薬局店頭で服薬状況の確認の強化



③必要に応じて処方医への相談

④処方医へ対応結果の報告

⑤対応結果は、情報提供元へ報告

⑥対応事例を薬剤師会へ提出（「**県薬への集計用報告用紙**」
（様式B））

薬局への 残薬報告書(様式A)

多職種 **FAX** 薬局

訪問看護師
ケアマネジャー
ヘルパー 等

※28年度からの改善点
飲み残し薬だけではなく、服薬
状況について気になることは
何でも報告していただけるよう
に欄を追加

A

薬局への残薬報告書

患者さんの手元に、飲み残し薬や未使用の外用剤など（以下、「残薬」と記載。）が沢山残っていませんか？

残薬がある場合は、調剤した薬局に情報を提供してください。皆様からの情報をもとに、薬の適正使用を目的として、その患者（利用者）さんの服薬支援を行います。

【注意事項】

1. 薬袋にある薬局名と貴施設のファックス番号をご記入のうえ、調剤した薬局へ送信してください。
2. 薬局への情報提供に際しては、患者（利用者）さんの同意を得てください。
3. この報告により、患者さんが医師や薬剤師から叱られる等の不都合な状況には決してなりませんのでご安心ください。

薬袋にある薬局名: 宛 (Fax.)

チェックを忘れないでね!!

報告内容 → 本報告は患者（利用者）さんの同意を得ています。

様のお薬が残っているようでした。

※ 該当する項目にチェックマークをお願いします（複数チェック可）。
また、参考となる情報がございましたら、自由記載欄にご記入ください。

☐ 調剤してもらった薬局に持参するよう、お伝えしました。

☐ 残薬が多く整理ができていないので、対応をお願いします。

自由記載（連絡事項記載欄としてご使用ください。残薬発生理由が分かればご記入ください。）

その他、薬が適切に使用できていないなどの事例があればご記入ください。

貴所属とご担当者名を
ご記入ください。

所属先名:
連絡先☎:
担当者名:

送 信 日: ____ 年 ____ 月 ____ 日

【職種】 チェックをお願いします。

☐ 介護支援専門員 ☐ 訪問看護師 ☐ 介護福祉士
☐ 医師 ☐ 歯科医師 ☐ その他

平成29年度の事例について（中間報告）

事例の報告方法

●平成29年度事例の収集期間：平成29年11月30日まで

●事例報告の流れ

- ① 薬局は、情報提供のあった患者1人につき1枚「県薬への集計用報告用紙（様式B）」に事例をまとめる
- ② 薬剤師会へ「県薬への集計用報告用紙（様式B）」を提出

A 薬局への残薬報告書	
患者さんの手元に、飲み残し薬や未使用の外用剤など（以下、「残薬」と記載。）が沢山残っていませんか？ 残薬がある場合は、調剤した薬局に情報提供してください。皆様からの情報をもとに、薬の適正使用を目的として、その患者（利用者）さんの服薬支援を行います。 【注意事項】 1. 薬袋にある薬局名と貴施設のファックス番号をご記入のうえ、調剤した薬局へ送信してください。 2. 薬局への情報提供に際しては、患者（利用者）さんの同意を得てください。 3. この報告により、患者さんが医師や薬剤師から叱られる等の不都合な状況には決りませんのでご安心ください。 薬袋にある薬局名： 宛（Fax. ） チェックを忘れないでね!! 報告内容 ☒ 本報告は患者（利用者）さんの同意を得ています。 _____ 様 のお薬が残っているようでした。 * 該当する項目にチェックマークをお願いします（複数チェック可）。また、参考となる情報をご提供したら、自由記載欄にご記入ください。 ☐ 調剤してもらった薬局に持参するよう、お伝えしました。 ☐ 残薬が多く整理ができていないので、対応をお願いします。 自由記載（連絡事項や記載としてご使用ください。残薬発生理由が分ればご記入ください。） _____ _____ その他、薬が適切に使用できていないなどの事例があればご記入ください。 _____ _____ 貴所員とご担当者を ご記入ください。 所属先名： _____ 連絡先： _____ 担当者名： _____ 送信日： ____年 ____月 ____日 【職種】 チェックをお願いします。 ☐ 介護支援専門員 ☐ 訪問看護師 ☐ 介護福祉士 ☐ 医師 ☐ 歯科医師 ☐ その他 高知県薬剤師会 多職種連携在宅服薬支援事業 高知家お薬プロジェクト	

対応結果を
まとめる

B 県薬への集計用報告用紙（患者一人に1枚）	
高知県薬剤師会 多職種連携在宅服薬支援事業 高知家お薬プロジェクト	
送信先FAX 088-822-8734 公益社団法人 高知県薬剤師会 事務局宛	
締め切り 平成29年12月5日	
①患者情報	性別 ☐ 男 ☐ 女 年齢 () 歳代
②報告者職種	☐ 介護支援専門員 ☐ 訪問看護師 ☐ 介護福祉士 ☐ 医師 ☐ 歯科医師 ☐ その他 ()
③多職種からの報告内容 ※複数回答可	☐ 調剤した薬局に持参するよう伝えてくれた ☐ 残薬が多く整理できていないので、対応をお願いされた ☐ その他（自由記載）
④対応した内容 ※複数回答可	☐ 残薬を整理し、服薬支援した（その方法を下記より選択） ☐ 古い薬剤の分別（廃棄含む） ☐ 仕切り箱の使用 ☐ 週間投薬カレンダーの使用 ☐ 日めくりカレンダーの使用 ☐ 在宅訪問の実施 → ☐ 医師からの訪問指示のもと、在宅訪問 ☐ 多職種連携により支援（具体的にお書きください） () ☐ その他（自由記載）
⑤対応結果は どうでしたか？	☐ 結果はまだわからない ☐ 残薬数量が減少した ☐ その他（自由記載）
⑥残薬発生原因は何でしたか？（下記より選択） ※複数回答可	
理解力低下	☐ 認知、認識機能低下による服薬管理能力の低下 ☐ 薬物治療内容への理解不足 ☐ 外用（吸入、貼付、軟膏など）の取り扱いができない
アドヒアランス 低下	☐ 薬物治療内容に対して納得していない ☐ 副作用発現への恐れや不安がある ☐ 印字、装袋の文字、指示などが見えていない
身体能力低下	☐ 一酸化された薬包紙の切り離しや開封ができない ☐ PTPシートから押し出せない ☐ 飲み込めない薬がある
多剤投与	☐ 薬の数が多すぎて整理がつかない ☐ 複数医療機関から薬をもらっているために整理がつかない
支援不足	☐ 服薬管理を手伝ってくれる支援者がいない
その他 （自由記載）	
⑦薬が適切に使用できていないなどの事例があれば記載ください	

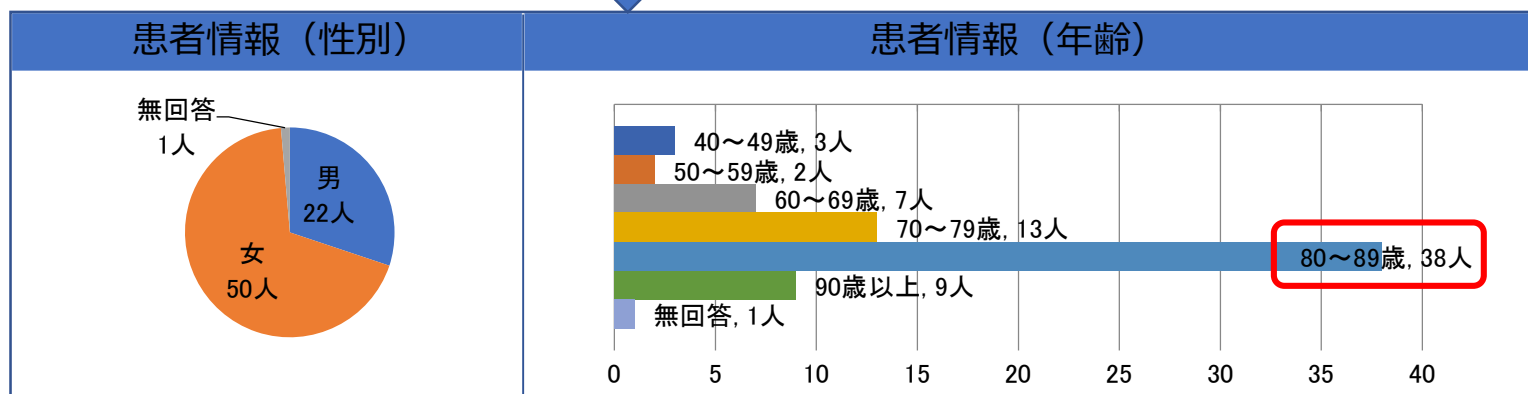
※ 多職種から薬剤師・薬局への相談方法として、「薬局への残薬報告書（様式A）」を使用する・しないは自由

平成29年度の事例について（中間報告）

事 例

- 情報提供していただいた職種：介護支援専門員 28人、医師 13人、訪問看護師 10人、介護福祉士・介護士 6人、その他

- 情報提供：**73件**



- 対応した内容
→ 残薬を整理し、服薬支援した 64件

- 対応結果
→ 残薬数量が減少した 47件

薬剤師による在宅訪問を実施 **19件**

そのうち、医師からの訪問指示のもと在宅訪問を実施 15件

在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」に関する多職種へのアンケート（中間報告）

アンケート概要

送付先：モデル地区に所在している在宅医療・介護事業所（235カ所）

回答者数：207人（158カ所）

回答職種：介護支援専門員 146人、看護師・訪問看護師 39人、
介護福祉士・介護士 14人、社会福祉士 8人、保健師 4人、その他

アンケート結果（中間報告）

- 近年1年間で、在宅患者の飲み残し薬など服薬状況に関する相談を薬局にされましたか
→ した（114人）
- 相談の結果はどうでしたか
→ 薬局と連携して解決にたった（102人）
→ 薬局から返信がなかった（0人）
- 今後、飲み残し薬など服薬状況が気になる方がいれば薬局に相談しようと思いますか
→ 思う（185人）

在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」に関する多職種へのアンケート（中間報告）

本事業に対するご意見

- ✓ 今まで薬局への相談はあまりしたことがなかったが、相談につながるきっかけになったと思う。（看護師）
- ✓ チームでの関わりが大切なため、今後必要度が高まると考えます。（訪問看護師）
- ✓ 残薬報告書があることにより、報告が手軽になる。（介護支援専門員）
- ✓ 様式がシンプルで分かりやすく記入しやすい。（介護支援専門員、介護福祉士）
- ✓ 薬剤師さんの活用の方法がわからない人もいると思うので、広く知ってもらうためには、良いプロジェクトと考えます。（介護支援専門員）

今後検討が必要なご意見

- 使用する際、そのための同意を得なければならないため、使用しづらい。FAXだけでは顔の見える連携はつukれない。（訪問看護師）
- 様式は良いと思いますが、やはり個人情報情報をFAXするというのは止めた方がよいのではないのでしょうか。（私は報告書を薬局へ持参しました。）（介護支援専門員）
- 報告書があることを知りませんでした。（介護支援専門員、保健師）

薬剤師のスキルアップ

- ・ 県（薬務主管課及び健康づくり主管課）からの事業説明
- ・ 高知家健康づくり支援薬局による取組発表など

平成29年7月12日～8月24日	高知家健康づくり支援薬局研修会 6カ所（薬剤師会支部単位で開催）
	「高知家お薬プロジェクト」多職種合同報告・説明会 （香長土支部/上記研修会と同時開催）
	「高知家お薬プロジェクト」説明会 （高知市支部/上記研修会と同時開催）
平成29年9月10日	健康サポート薬局についての研修会【薬剤師会独自】
平成29年10月15日	健康サポート薬局のための多職種連携研修会
平成29年11月16日	訪問薬剤師養成研修会
平成29年11月19日	健康サポートのための薬剤師対応研修会
平成29年12月16日	吸入指導講習会
平成30年1月14日	多職種連携研修会
平成30年2月18日（予定）	生活習慣病対策研修会
平成30年2月25日（予定）	在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」多職種合同報告会

病院薬剤師と薬局薬剤師による合同研修

広報について

○県民向け

- ・TVCM
- ・新聞広告(薬と健康の週間)【薬剤師会独自】
- ・リーフレット等資材配布(お薬・健康相談会会場等)
- ・県広報誌、ホームページ、ツイッター、広報TV・ラジオ、市広報誌
- ・コンビニ(リーフレット設置)、量販店(ポスター掲示)
- ・県内大学(ポスター掲示)

県が広報

○関係者への事業周知(県と連名で実施)

- ・関係団体会報
- ・関係団体総会、役員会等での説明
- ・事業説明文書

(在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」、
薬局外活動(あったかふれあいセンター等でのお薬・健康相談会の実施、
地域ケア会議への参加)



高知家健康づくり支援薬局 TVCM



土佐おもてなし海援隊が
「高知家健康づくり支援薬
局」の取組やお薬手帳に
ついてPR

放映期間：平成29年9月16日（土）～10月23日（月） 民放全3局

まとめ～見えてきた課題解決のために～

- 「高知家健康づくり支援薬局」の取り組みを見える化
 - ・・重点取組項目の設定
- 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」の定着
 - ・・薬剤師が服薬状況に不安を感じている対象であり、かつ、多職種からの服薬状況に関する相談が多い「高齢者」を中心に薬局内外で服薬支援を徹底
 - ・・保険者との連携による個別の服薬指導
- 薬局間連携体制の仕組みづくり(高知型薬局連携モデル)
 - ・・地域の中で、拠点薬局を中心にかかりつけ薬剤師・薬局機能を強化
- 効果的な広報
 - ・・事業周知、高知家健康づくり支援薬局の認知度(取組内容等)向上